



鞠の浦学園だより

No.13
2022年（令和4年）10月31日



「いつも生徒に助けてもらっています！」

～子ども達も先生方も、どんどん恐れず失敗という経験をしてほしい！～

先週の金曜日、8年担任から今日の出来事を2つ教えてもらいました。担任は「いつも生徒に助けてもらっています！」担任の絶妙な声掛けとほのぼのとした学級の雰囲気を感じ、嬉しくなりました。

【出来事その1】

給食を食べ終わった後、Aくんが配り物をしてくれていた。手があいているBくんに半分「ん。」と託し、2人で配ってくれた。終わった後、Aくんが「Bくん、ありがとう。」と一言。Bくんは不思議そうな顔だったので、「きっと文句言わず手伝ってくれたのが嬉しかったんだよ。」と声をかけた。何も言わず自然と手伝えるBくんも、配り物をしてくれたうえに、お礼が言えるAくんにも成長を感じてうれしくなった。



【出来事その2】

給食の時、キノコが苦手な2人が自分のキノコを減らしていた。「キノコは、2人を成長させるために生まれてきたんだと思うけど～？」と声をかけると、生徒の1人は、「キノコは、ニョキニョキ生えてくるだけだ！」と言った。それを聞いたCくんが、「『生まれる』も『生える』も同じ漢字だなあ。」とつぶやいた。・・・

先日、第2回学校運営協議会を開き、委員と授業参観・協議を行いました。「全体的に落ち着いて、楽しく授業に取り組んでいる。」
「子ども達が、ちゃんと自分達で物事を考えるようになっていく。」
「子ども達の発想の豊かさに驚かされる。自分達の固定観念を破ってくれる。」
「先生方の指導能力は、子ども達の成長にリンクしている。」
「子ども達も先生方も、どんどん恐れず失敗という経験をしてほしい！」・・・
学園の雰囲気や状況、これから更に何を大切にしていくことが必要なのか等、貴重なご意見をいただきました。子ども達の更なる成長に向け、我々の適切な声かけや学びを引き出す力を磨きます。協議内容は学園HPに掲載しています。2学期後半も、だれもが成長を実感できる取組をめざします！

「下を向いていたら、虹を見つけることはできないよ」



3年生新聞には、季節にあつた記事が紹介されています！



4年生教室にある「あいさつの木」の成長が楽しみですよ。



学園内で一番でっかい掲示物に、素敵な言葉が添えられています。毎日楽しく学び、笑顔で過ごし、学園に来て下さった方にも笑顔を届けよう！そんな願いが込められています。この言葉や飾る場所も、チャレンジタイム（国語）の児童生徒が考えて実現しました。

図書館ビンゴでしおりゲット！



出前授業ありがとうございました。



田中食品さん
羽田知世さん他

黒潮実感センター
細田暁さん他

「図書館ビンゴ」は、「子ども司書」の5年中山心響さんが「学園のみんなに、たくさんの本を読んでもらいたい！」という願いを込めて、企画しました。条件にあった本を読み、ビンゴがそろそろしおりがもらえます！知らず知らずのうちにいろんな種類の本が読めました。しおりや掲示物、紹介動画の作成は、中山さん、図書委員の皆さんによるものです。ありがとうございました！

福山城に菊を見に行きませんか！



生徒が毎日水やりをして育てた菊が、福山市の「菊花展」に今年も展示されました。